

2025 第 1, 2, 3 RUTC 永遠の答えの始まり (44) (社)世界福音化伝道協会 www. weea. kr		
2025 年 11 月 1 日 週間祈りカード		
△産業宣教/金土日時代のやぐら 38 ヨーロッパと世界産業人の家族縁組運動(使 1:8)	△RT と TCK 伝道学/三つの庭のモデル 38 世界レムナント 24 チーム構成(使 19:8)	△核心 ヨーロッパと世界伝道者の 25 チーム構成(使 1:3, 19:8)
△ヨーロッパにいてすべきことは、神様が備えておかれた人を見つけることだ。高い位にいる人に信任を得ることと、フランスにいる重要な弟子一人を育てることだ。それは必ず一つの国を生かすことになる。 □序論 1. 霊的問題を持っている、これは時代と私の責任だ。 2. 国家的な問題 昔にはそのような運動が難しい国ごとにあった。 △韓国に朝鮮戦争が起こり、とても難しくて食事でもできなかったとき、先進国から韓国全体を置いて人材を家族縁組して学費を送ってくれた。韓国は先進国になったから、返す時が来たのだ。一つの国の人材を助けるのは、一つの国を得ることだ。 3. 国際的にこの運動が起こった。 4. 教会がこの運動をして、韓国を助けた。 5. 弟子として、今私たちはこの運動に目が開かれる必要がある。 韓国の産業人は、5 千種族の人材を探して家族縁組しなさい。ひとりが 1 人、人材を育てなさい。 □本論_ひとり 世界宣教するのにイエス様が何と命じられたのか 1. あらゆる国の人々、すべての造られた者、地の果てまで行きなさい。 1) マタ 28:16-20 「天と地のすべての権威がわたしに与えられている。世の終わりまで、いつもあなたがたとともにいる。あらゆる国の人々に行きつて弟子としなさい」 2) マコ 16:15-20 彼らを癒やし、わたしの名で祈り、病んでいる者に手を置いて、悪霊を追い出しなさい。 3) 使 1:8 聖霊に満たされれば力が与えられる。御座のやぐら、旅程、道しるべを備えるのが聖霊の満たし。 2. モデル 1) 使 2:10 マルコの屋上の部屋に集まって恵みを受けて、福音を正確に受けて、事業も良くするローマ国籍のある者。この集会に出席。 2) 使 18:4 会堂に行く。 3) 使 18:24-28 アポロに正確な福音と力を伝達 3. 内容-三つの伝達 1) キリストの完全性(17:1-9) 2) 祈りの完全性(18:4) 3) 答えの完全性(19:8) -御座、神の国、神の国のことが答え。実を結ぶのはその後に来る。 □結論 1. 天命 2. 召命 3. 使命になるべき。 △なぜ私がヨーロッパにいるのか。なぜこの時代に私が産業人重職者になったのか。質問だけすれば答えが与えられる。礼拝に参加して、みことばで答えを受けて、祈りで刻印。子どもに、親しい人に会えば話す。	□序論_24 <u>リズム</u> <u>3 集中、3 セッティング、3 答え</u> 1. エジプト-ヨケベデ、モーセ、イテロ、ヨシュア、カレブ、ラハブチームが構成されると、エジプトがひっくり返された 2. ペリシテは 4 人。ハンナ、エッサイ、サムエル、ダビデ 4 人がひっくり返した 3. アラム時代には重職者オバデヤ、先輩エリヤ、後輩エリシヤ、3 人がひっくり返した 4. バビロン-この祝福の力を味わっていた 5 人、ダニエル、三人の青年、エステル、5 人がひっくり返した。 5. ローマ-ロマ 16 章見れば 20 人数人がいる。彼らがひっくり返した。 □本論 1. 使 2:9-11 15 か国の多民族が集まった。 1) 三つの祭り-常に三つの祭りの祝福を味わいなさい。 2) すべての民族-そこに多民族が生かされるようになっていく。 3) 未来が見えるようになっていく(使 2:17-18)。すでに未来の答えを持っている。 2. 三つの完全性を教えなさい。 1) キリストの完全性-永遠前、受肉された、復活された、再臨主、さばきの主として立たれるキリスト 2) 祈りの完全性を安息日ごとにレムナントに。 3) 答え(神の国)の完全性を教えなさい。 3. 未来-レムナントの未来は別にある。 1) 使 19:21 「ローマも見なければならぬ」 237 か国がいるから。 2) 使 23:11 「ローマでも証ししなければならぬ」 3) 使 27:24 「カエサルの前に立つ」 □結論_24 1. 編集、設計、デザイン 2. OURS 3. WIOS -このシステムが 24。 △300% -祈り始めて、できる時まですれば、ただ、すると唯一性、行く所ごとに再創造が起こる △散らされた弟子たち/7:7-7 のモデル 38 ヨーロッパと世界の散らされた弟子たちの永遠チーム構成(ロマ 16:25-27) 私たちの結論は散らされた弟子たちから出てくる。世界福音化しなければならぬので。 1. Rom 16:25 世々にわたって隠しておいたことを与える。 2. Rom 16:26 確信しなければならぬ。今日の問題は、未来を見る土台。今。 3. Rom 16:27 未来を今日に操り上げて見るべき。今皆さんが座っている場所、皆さんが考えてい	使 1:3, 19:8 今 3 団体は世界を掌握している。そこに 237、5 千種族が奴隷だ。教会はそこに仕えている。そのとき、イエス様が神の国について 40 日説明された。 □序論_神様が与えられた祝福 1. 御座-イエス様がどのように祈って世界福音化するのか説明された。 2. 神の国が臨むのが答えだ。 3. こと-そのとき、神の国のことが成り立ち始める。 □本論_どのように味わうのか 1. 第 1 キャンプ(使 13:1-4, 16:6-10, 19:1-8) どこでも、これからしなさい。聖霊は目には見えないが、皆さんを導いておられるので、朝に少しだけ質問すれば良い。朝に力を受けなさい。昼には確認して、夜には答えを出すのだ。 道がふさがったのか。もっと大きな答えを。ローマに行く前にマルコの屋上の部屋に起こった力を体験すべきだ。 1) やぐら-この祈りを続ければ御座のやぐらができる。 2) 旅程-御座の旅程を進むようになる。 3) 道しるべ-あちこちから作品が出てくる。 2. 第 2 キャンプ(使 13:5-11, 16:16-18, 19:8-20) 皆さんが行く所にネフィリムと暗闇が崩れる。病んでいる人が皆さんを訪ねてくれば答えを与えれば良い。 1) ただ-現場に行けば、これが見える。これが見える時まで皆さんがすることを熱心にして待てば良い。 2) 唯一性を持って行く。 3) 再創造に行く。 3. 第 3 キャンプ(使 13:12, 16:15-40, 19:21) 総督、リディアと牢の看守が弟子になった。ローマも見なければならぬ。未来だ。 1) プラットフォーム-皆さんが行くと、大人が知らないこと、現場の人が見えないことが見える。この答えを与えるようになる。行って未来を癒やしてしまう。皆さんがプラットフォームにならなければならない。 2) 見張り台-皆さんが、ほかの人が来るように光を照らす見張り台にならなければならない。 3) アンテナ-ほかの人がこの祝福を同じように味わうようにさせなければならない。 △レムナントは何か迷っている。メッセージが整理できずにいる。整理しなければならない。重職者は、葛藤が全く同じだ。神様を信じないで世的なことを持って度々する。違う。牧会者は限界が来ている。自分の力でして限界が来るのだ。神様は限界がない。

2025 第 1, 2, 3 RUTC 永遠の答えの始まり (44) (社)世界福音化伝道協会 www.weea.kr		
2025 年 11 月 2 日 週間祈りカード		
△区域メッセージ第 44 週 復興の再生産 (使 1:8)	△聖日 1 部/RU 主日 神様が備えておかれたことを見つけない(第 2 人生キャンプ) (使 16:6-10)	△聖日 2 部/神殿建築献身礼拝 三つの庭と癒やす神殿 (使 16:16-18)
個人、職業、教会「復興の再生産」 △私たちの個人、また、学業、産業、職業がある。教会も、地域も同じだ。ここにいちばん重要なことは、復興して、これが再生産されなければならないことだ。それでこそ、世界福音化をすることができる。ところで、私たちは普通、弟子を育てるとき「私の話をよく聞いて」と育てる。多民族が教会に来て、みことばもよく学ぶべきだが、帰って再生産する力がなければならない。レムナントは、親の話もよく聞かなければならないが、どこにいても生き残らなければならない。 □序論 - 絶対やぐら-やぐらをたくさん作るのではなく絶対やぐらだ。 - 絶対旅程-たくさん歩き回るのも重要だが絶対旅程だ。 - 絶対道しるべ-足跡を、記念碑を建てて来る絶対道しるべだ。 △300% -この目だけ開かれれば、事業も、伝道も、すべて成功するようになっていく。 □本論 - 聖霊の満たし-やぐら、旅程、道しるべがみな私のことになったとき、聖霊の満たし、味わうということだ。 - 見張り人 24 -このときから、この答えがあるので見張り人の祝福を味わう。 3 セッティング-プラットフォーム、見張り台、アンテナが作られる。静かにしていてもプラットフォームが作られていると人が来る。 3 答えをすでに持って行った。ヨセフが奴隷として仕事をしに行ったのではなく、答えを持って行ったのだ。濡れ衣を着せられて監獄に行ったように見えるが、答えを持って行き、王に会いに行った時も答えを持って行った。 - カ-聖霊の満たし程度ではなくて、この力を話すのだ。25 だ。 - WIOS -神様が私たちとともにおられ、インマヌエル、ワンネスになったこの祝福を味わうようになる。 - OURS -ただ、唯一性、再創造のシステム、祝福を味わうようになる。これを 25 と言う。 - 絶対弟子-そこに必ず絶対弟子が出てくるようになっていく。 - 地の果てまで行きなさい。 - カルバリの丘では十字架の血で完了した。 - オリーブ山では御座のミッションを与えられた。 - マルコの屋上の部屋では主日に礼拝するときには受ける力を体験するようになっていく。 - アンティオキアでは時代のターニングポイントを作るようになる。 - アジア-聖霊の導きを受けた。 - マケドニア-病人、悪霊につかれた者を治して完全に聖霊の働きが起こった。 「ローマも見なければならぬ」弟子が出てきて聖霊の実を結ぶようになる。 □結論 証人 (300%) もう証人として 300%になる。私たちの産業が 300%、レムナントの学業が必ず 300%になって世界福音化しなければならない。	□序論 残りの人生に私の使命を見つけない。 - 私の残りの使命を分らない人々(モーセ、エリヤ)-神様はまだ始めてもおられなかった。 - 神様の絶対主権の中に皆さんのことが残っている。 - エジプト、バビロン、ローマの征服は成功ではない。困難も失敗ではない。 - 神様の絶対主権の中に皆さんの計画がある。自分の限界に陥って決定するのではなく、祈りで再挑戦しなさい。 - 早く知った人(ヨセフ、サムエル、ダビデ)、遅く知った人(モーセ)、知らずに生きていった人々(不信仰の中で嘘が正しいと思って生きて、困難と霊的問題の中に陥るようになる) - パウロが絶対主権の中に自分の使命を発見する前にあったこと - ダマスコでキリストの光がパウロを照らした。 - わたしはあなたが迫害するイエスだ-すべての疑問に対する答えがみな出てきた。 - 異邦人、王たちの前に立てる選びの器-初めての宣教師派遣、聖霊の導きを受けて行ったところ暗闇が崩れる働き □本論 絶対主権の中にある私の使命を見つける道 - 使 16:6-10 絶対やぐら - 夜に幻のうちにマケドニアに(10 節)-祈っていて与えられた時代的なターニングポイント - 道がふさがったとき-神様の前に質問すれば答えが与えられる。 - 道をふさがれた理由-神様の絶対やぐらを与えようと - 使 16:11-15 絶対旅程 - 折り場があると思う所に行ったとき(13 節) -落胆せずほかのことを見つめずに、これから見つけない - リディアとの出会い(14-15 節) -福音を聞いてミッションホームとビリビ教会になったその家 - 神様が絶対主権を持って残しておかれた絶対旅程-リディア - 使 16:16-18 絶対道しるべ - 私たちが祈る場に行くとき(16 節) - 悪霊につかれた者をイエスの御名で治した-絶対道しるべ - 残りの人生に神様は絶対やぐら、旅程、道しるべを備えられた。祈りだけすれば見つけるのは簡単だ。 □結論 第 2 の人生キャンプ-絶対やぐら、旅程、道しるべを見つける神様の働き体験 - 先に来る霊的答え(Ⅲヨハ 1:2、ヘブ 11:1-3) - 御座の力 2) 神の国 3) 神の国のこと - 三位一体の神様のやぐら、旅程、道しるべが働き始める。 - ついてくる答え - 時空超越 2) 空前絶後(私にだけ準備されたこと) 3) 237-5000 △信仰の決断-親の状況、長老の立場と水準、私の水準を超えなければならない。主は御座の力、聖霊の満たしを約束された。神学の勉強をしない牧師、レムナント人材を呼んで学ばせる RU のために祈りなさい。	神殿建築をおいて 24 祈るチームが起こるべきだ。 三つの庭と癒やす神殿-教会ではできずにいる。 □序論 他の宗教ではしている。 - ネフィリム]の始まり-12 戦略で人に偽りの癒やし - ユダヤ人-教会の中に入り込んだネフィリム戦略 3 団体-ネフィリム運動しているので危険だ。ネフィリムはサタンに捕えられるようにさせるのだ。 - 仏教、修行、お祓い-続けて問題がくる。 - 次世代に必ず行く。 △ネフィリムのゆえに。精神病患者が急速に増えている。 □本論 三つの庭 - 来ている祝福 1) コリ 3:16、ヨハ 14:16、14:26、16:13 神様の宮、助け主聖霊-ともに、すべてのことを悟らせて、真理の中に導き、これから起こること(将来) 2) RT-癒やし、異邦人、次世代を生かした。 3) ヨハ 2:12-25、使 2:9-11、使 11:19-30 三つの庭がないことに憤られたイエス様、マルコの屋上の部屋、アンティオキア教会が始まって回復した三つの庭 - 現場に待っている - 使 13:1-4、16:6-10、19:21 異邦人の庭、マケドニアに、ローマに行きなさい。 - 使 13:5-12、16:16-18、19:8-20 暗闇を砕いた。悪霊につかれた者、不治の病の者を治した。 - 使 17:1、18:4、19:8 この祝福を伝えるために会堂へ △パウロはこれしかなかったが地球上のすべての祝福、力をみな受けた。 - 神殿を作らなければならない理由 1) 三つの庭 24 <u>組織</u>-来ている多民族、立ち返ってきた霊媒師の中で重職者、教役者を立ててレムナント人材の中に予備重職者を立てなければならない。 2) 三つの庭 25 <u>訓練</u>-御座の力が臨むのが 25 だ。多民族の中で人材を選んで異邦人訓練をさせることに加えなければならない。 3) 三つの庭永遠<u>招待</u>-人材招待、訓練、派遣 △聖書にあるとおり、神様が願われることをすべきだ。全国と全世界が祈るように建築に対する映像を作ってみなさい。 □結論 どんないでなければならぬのか 1 歴 29:10-14 契約の箱が風が吹く所にあることに心を痛めたダビデ - マラ 3:1-10 十分の一献金-神殿を再建しなさい。 3/9/10 10 の 9 献金をした初代教会、プリスカ夫婦 △神様のみことばを信仰によって心にとどめなさい(詩 119:10-11、創 37:11)。それは必ず成就する。1 部は主の絶対主権の中にある私のことを見つけない。するとパウロチームが行ったその道を行くようになる。2 部は三つの庭を持って癒やす神殿を準備しなさい。